

科目名	美容衛生管理論Ⅱ			Subject	Sanitation administration Theory Ⅱ			
サブタイトル	美容事業にかかわる衛生管理〔感染症、衛生管理技術（消毒法）、衛生管理の実践例〕について							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP 1 知識・技能	DP 2 主体的行動力	DP 3 課題解決能力	DP 4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP 5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP 6 美しく生きる力を実践できる能力
2 年	後期	選択						
授業形態	単位	時間						
講義	1 単位	30 時間	◎		○			
ゲストスピーカー招聘回	なし							
教員名	濱村 一郎			メールアドレス				
教員の略歴	1993 年 3 月、熊本大学大学院薬学研究科修士課程修了後、同年 4 月より帝人（現、帝人ファーマ）株式会社入社。同社において、15 年間、呼吸器疾患（感染症、アレルギー、喫煙）に関連した医薬品の開発研究に従事。その間、米国胸部疾患学会（American Thoracic Society）において研究成果を発表（3 回）。また、喫煙関連研究のため Medical Research Council Technology(UK)派遣を経験（2007.2～2007.8）。その後、マーケティング、臨床開発（プロジェクトマネジメント）業務に従事した後、現職務（事業開発）においてプロジェクトのビジネス価値評価を実施中。							
実践的教育	薬学（生理学、生物学、微生物学、衛生学）領域で得た知識および経験を活かし、具体的にわかりやすく展開する。							
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。							

科目の概要								
本科目は、美容師に必要な美容衛生管理論のうち、感染症、衛生管理技術（消毒法）、衛生管理の実践例で構成されており、美容を提供する上での適切な対応につながる知識を学ぶ。学習をすすめることで習得した知識や技術を活かす場面を想定できることを目的にしている。また最終的には、美容事業に係る衛生管理上の課題に対して適切な解決策が選択できることを目的にしている。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	-	-	-			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
DP1	美容事業にかかわる衛生管理方法が述べられる。							
DP3	美容施術にかかわる環境衛生や感染予防の課題を解決するために DP1 で習得した知識、技能を活用することができる。							
教科書・教材								
教科書	衛生管理、日本理容美容教育センター2026							
参考文献	必要に応じて適宜、準備する。							
各自準備教材	なし							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
70%	-	-	20%	-	-	-	10%	-
なお、出席数の不足や不正行為があった場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
実施した小テストについて解説する。定期試験は事前に要点を解説する。								
履修上の条件・注意								
ノートを用意し、各授業内容で解説する重要ポイントについて整理したノートを作成する。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								
なし								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	オリエンテーション	授業の進め方を理解し、授業の前後に実施すべき予習、復習の仕方について理解し実践できる。	・予習は、テキストの指定されたページ（授業範囲）を読み返し内容を確認しておくこと。 ・復習は、テキストの学習範囲、ノートおよび関連資料を読み返し理解を定着させておくこと。	60 分
第 2 回	感染症レビュー 1） 夏季において履修済みの「感染症の総論」における重要ポイントについて復習する。	感染症発生の要因および予防三原則についてポイントが述べられる。	・予習：テキスト（授業範囲）を読み返し内容を確認しておくこと。 ・復習：テキストおよび実施、提供されたテストや資料を読み返し正しく理解しておくこと。	60 分
第 3 回	感染症レビュー 2） 夏季において履修済みの「感染症の各論」における重要ポイントについて復習する。	主な感染症の種類および具体的な対策について述べる事ができる。	・予習：テキスト（授業範囲）を読み返し内容を確認しておくこと。 ・復習：テキストおよび実施、提供されたテストや資料を読み返し正しく理解しておくこと。	60 分
第 4 回	消毒法総論 1）消毒とその意義について学ぶ。	消毒の意義および殺菌、消毒、滅菌、防腐の定義について違いを述べられる。	・予習：テキスト（授業範囲）を読み返し内容を確認しておくこと。 ・復習：テキストおよび実施、提供されたテストや資料を読み返し正しく理解しておくこと。	60 分
第 5 回	消毒法総論 2）理容・美容業務と消毒との関係について学ぶ。	消毒に関連する法規および理容師・美容師の責任について述べられる。	・予習：テキスト（授業範囲）を読み返し内容を確認しておくこと。 ・復習：テキストおよび実施、提供されたテストや資料を読み返し正しく理解しておくこと。	60 分
第 6 回	消毒法総論 3）消毒法と適用上の注意について学ぶ。	消毒法の種類およびその適用のポイント（消毒の条件、消毒薬・同使用液の使用、保存表の注意）について述べられる。	・予習：テキスト（授業範囲）を読み返し内容を確認しておくこと。 ・復習：テキストおよび実施、提供されたテストや資料を読み返し正しく理解しておくこと。	60 分
第 7 回	消毒法各論 1）理学的消毒法（殺菌法）について学ぶ。	理学的消毒法（殺菌法）の種類、条件について述べる事ができる。	・予習：テキスト（授業範囲）を読み返し内容を確認しておくこと。 ・復習：テキストおよび実施、提供されたテストや資料を読み返し正しく理解しておくこと。	60 分
第 8 回	消毒法各論 2）化学的消毒法（殺菌法）について学ぶ。	化学的消毒法（殺菌法）の種類、条件について述べる事ができる。	・予習：テキスト（授業範囲）を読み返し内容を確認しておくこと。 ・復習：テキストおよび実施、提供されたテストや資料を読み返し正しく理解しておくこと。	60 分
第 9 回	消毒法各論 3）消毒を行う際の注意事項について学ぶ。	すぐれた消毒法の条件と消毒を行う際の注意事項のポイントについて述べられる。	・予習：テキスト（授業範囲）を読み返し内容を確認しておくこと。 ・復習：テキストおよび実施、提供されたテストや資料を読み返し正しく理解しておくこと。	60 分
第 10 回	消毒法実習 1）消毒薬の概要と使い方について学ぶ。	各種消毒薬および関連する器具の取り扱いについて述べられ、それらを使って希釈液を調整できる。	・予習：テキスト（授業範囲）を読み返し内容を確認しておくこと。 ・復習：テキストおよび実施、提供されたテストや資料を読み返し正しく理解しておくこと。	60 分
第 11 回	消毒法実習 2）理容所・美容所の消毒の実際について学ぶ。	理容所・美容所における消毒の原則および設備、器具、理容師・美容師の手指など各消毒についてポイントが述べられる。	・予習：テキスト（授業範囲）を読み返し内容を確認しておくこと。 ・復習：テキストおよび実施、提供されたテストや資料を読み返し正しく理解しておくこと。	60 分
第 12 回	消毒法実習 3）理容所・美容所の清潔法の実際について学ぶ。	理容所・美容所の清潔保持のポイントについて述べられる。	・予習：テキスト（授業範囲）を読み返し内容を確認しておくこと。 ・復習：テキストおよび実施、提供されたテストや資料を読み返し正しく理解しておくこと。	60 分
第 13 回	衛生管理の実践例 1）理容所・美容所における衛生管理要領（目的、衛生的取扱い、等）について学ぶ。	理容所・美容所の衛生管理要領に関して、その目的や衛生的取扱い等のポイントが述べられる。	・予習：テキスト（授業範囲）を読み返し内容を確認しておくこと。 ・復習：テキストおよび実施、提供されたテストや資料を読み返し正しく理解しておくこと。	60 分
第 14 回	衛生管理の実践例 2）理容所・美容所における衛生管理要領（消毒、自主管理体制）について学ぶ。	理容所・美容所の衛生管理要領に関して、消毒、自主管理体制のポイントが述べられる。	・予習：テキスト（授業範囲）を読み返し内容を確認しておくこと。 ・復習：テキストおよび実施、提供されたテストや資料を読み返し正しく理解しておくこと。	60 分
第 15 回	衛生管理の実践例 3）理容所・美容所の自主管理点検表について学ぶ	理容所・美容所の自主管理点検表のポイントが述べられる。	・復習：テキストおよび実施、提供されたテストや資料を読み返し正しく理解しておくこと。	60 分